

★学校教育目標		夢に向かって やさしく かしく たくましく		★重点計画の概要		『保護者、地域から信頼され、安心して子供をあげることができる学校』				
★目指す学校像（ビジョン）		【めざす児童・生徒像】 ①集団の中で自分がどうあるべきかを考え、行動できる児童 ②（重点目標）自ら問いをもち、思考・判断・表現したことを生かす児童		【めざす学校像】 ①授業と学校生活が楽しい学校（教育の充実） ②当たり前のことが当たり前でできる学校（凡事徹底・組織的な取組） ③学区を開き、情報の共有会に努める学校（家庭、地域社会と連携・協力）		【めざす教師像】 ①児童一人一人を大切に、児童理解と指導力を進んで学ぶ教師 ②組織（チーム夢が丘小）として協働する教師				
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策	
				評価点	取組指標	評価点	成果指標			
学び	確かな学力の定着を図り、授業が楽しい学校	教師が「教える」授業から、児童が「主体的・対話的に深く学ぶ」学習への転換を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決学習や体験活動を自ら見だし、見出した問題を協働学習・対話的な学習を通して解決することで、「深い学び」へとつなげる。 「問題解決型・探究型の授業」「協働学習の導入」「指導と支援と評価の一体化」を図り、「学力の定着」と「読み解く力」を育成する。 	4 「問題解決型・探求型の授業」を学期に2回以上実施した教員が90%以上	3	3 「問題解決型・探求型の授業」を学期に2回以上実施した教員が80%以上	3	4 「学習内容が分かり、できるようになった」と答えた児童が90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 先生と児童の関係性がよく、落ち着いた学習している。 友達同士で話し合う時間がどの学年でも見られて、協働学習が出来ると感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員、児童、保護者、評議員と8割以上の高評価となった。 今後も、教員の自己研鑽とともに、研修参加や還元研修、OJTや交換授業などを行い、切磋琢磨できる機会を増やしていく。
				3 「問題解決型・探求型の授業」を学期に2回以上実施した教員が70%以上		2 「学習内容が分かり、できるようになった」と答えた児童が70%以上				
				2 「問題解決型・探求型の授業」を学期に2回以上実施した教員が70%未満		1 「学習内容が分かり、できるようになった」と答えた児童が70%未満				
				4 学習者用端末やICT機器を週に3回以上活用した授業を実施した教員が90%以上		3		3 学習者用端末やICT機器を週に3回以上活用した授業を実施した教員が80%以上		
3 学習者用端末やICT機器を週に3回以上活用した授業を実施した教員が80%以上	3 「学習者用端末やICT機器を使った授業が楽しい」と答えた児童が80%以上									
2 学習者用端末やICT機器を週に3回以上活用した授業を実施した教員が70%以上	2 「学習者用端末やICT機器を使った授業が楽しい」と答えた児童が70%以上									
1 学習者用端末やICT機器を週に3回以上活用した授業を実施した教員が70%未満	1 「学習者用端末やICT機器を使った授業が楽しい」と答えた児童が70%未満									
学び	確かな学力の定着を図り、授業が楽しい学校	<ul style="list-style-type: none"> 意図的・計画的な授業実践により、一人一人の確かな学力の向上を図る。 学習者用端末やICT機器を積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「習得」=ねらいを板書で示し、1時間のねらいを全員が達成する授業を推進する。 「活用」=習得したことを日常生活で活用するような場面を設定する。 「言葉と体験」=言葉と体験を重視した教育活動を展開する。自分の言葉で表現できる児童を育成する。 学習者用端末やICT機器を授業に積極的に活用する。 	4 授業の交換を行い、自らの専門性を生かした授業を実施した教員が90%以上	3	3 授業の交換を行い、自らの専門性を生かした授業を実施した教員が80%以上	3	4 「家庭学習を毎日行った」と答えた児童が90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から始めた取り組みで、身に付くとよいと思う。 保護者の協力も必要なので、理解の浸透を図ってほしい。 道徳で交換授業を行っているようだが、少しずつ他教科も進められると良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 交換授業開始が遅い学年があった。 専門性を生かした授業交換は、継続して行いながら、教員同士で学び合いを深める。 家庭学習の事例を紹介し合い、児童や保護者に興味関心がある内容を薦められるようにする。
				3 授業の交換を行い、自らの専門性を生かした授業を実施した教員が70%以上		2 「家庭学習を毎日行った」と答えた児童が70%以上				
				2 授業の交換を行い、自らの専門性を生かした授業を実施した教員が70%未満		1 「家庭学習を毎日行った」と答えた児童が70%未満				
				4 体力向上や健康・安全教育を意識して指導した教員が90%以上		4		3 体力向上や健康・安全教育を意識して指導した教員が80%以上		
3 体力向上や健康・安全教育を意識して指導した教員が70%以上	2 「体力がついた」と答えた児童が70%以上									
2 体力向上や健康・安全教育を意識して指導した教員が70%未満	1 「体力がついた」と答えた児童が70%未満									
4 「凡事徹底」「率先垂範」を意識して指導した教員が90%以上	4	3 「凡事徹底」「率先垂範」を意識して指導した教員が80%以上	4	4 「自分からすすんで挨拶をしている」と答えた児童が90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶を学校内外で積極的にしていて、嬉しかった。 児童には挨拶や言葉遣いなど正しく使えるように今後も指導をお願いします。 先生方だけでなく、保護者や地域の大人も言葉遣いを大切にしてください。 		<ul style="list-style-type: none"> 挨拶や言葉遣いについては、教員から全校朝会などで共通した指導を行うとともに、今年度、児童会を中心に作成した「夢小 3つのやくそく」を振り返り更新したりするなど、児童からもしっかり考える機会をもち、教員児童の双方から意識向上を図る。 			
3 「凡事徹底」「率先垂範」を意識して指導した教員が70%以上		2 「自分からすすんで挨拶をしている」と答えた児童が70%以上								
2 「凡事徹底」「率先垂範」を意識して指導した教員が70%未満		1 「自分からすすんで挨拶をしている」と答えた児童が70%未満								
4 考え、議論する内容を目標し、交換授業を学期に5回以上実施した教員が90%以上		3		3 考え、議論する内容を目標し、交換授業を学期に5回以上実施した教員が80%以上		3		4 道徳の授業で「自分で考えたり、友達と話し合ったりすることが楽しい」と答えた児童が90%以上	<ul style="list-style-type: none"> 教室に貼ってある道徳コーナーが良い。児童も忘れないうちから、道徳授業地区公開講座では、スクールカウンセラーのお話がとても興味深かった。スクールカウンセラーに予約する人が増えたことにもつながっていると伺い、良いことだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 交換授業を行いながら、学年の担任同士が児童理解を深めるという目的意識をしっかりともち、定期的に行うようにする。 教員同士で教材研究を行い、児童が考え、議論する授業を行う。
3 考え、議論する内容を目標し、交換授業を学期に5回以上実施した教員が70%以上	2 道徳の授業で「自分で考えたり、友達と話し合ったりすることが楽しい」と答えた児童が70%以上									
2 考え、議論する内容を目標し、交換授業を学期に5回以上実施した教員が70%未満	1 道徳の授業で「自分で考えたり、友達と話し合ったりすることが楽しい」と答えた児童が70%未満									
4 いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めた教員が90%以上	4		3 いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めた教員が80%以上	4	4 「先生に相談しやすい」と答えた児童が90%以上		<ul style="list-style-type: none"> 生活指導主任から、毎月アンケートを行い、早期発見と組織対応を心掛けて話があり安心した。これからも、いじめが起きないよう指導して欲しい。 先生と児童の良い関係性を続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月のアンケートを継続しながら、いじめ対策委員会と内容を吟味し早期発見、対応を心掛ける。 担任だけでなく、組織的に児童に対応し、児童にとって担任以外にも話しやすい教員を増やしていく。 		
3 いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めた教員が70%以上		2 「先生に相談しやすい」と答えた児童が70%以上								
2 いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めた教員が70%未満		1 「先生に相談しやすい」と答えた児童が70%未満								
4 地域に関する学習や交流、体験活動を計画通り実施した教員が90%以上		3	3 地域に関する学習や交流、体験活動を計画通り実施した教員が80%以上		4	4 「地域に関する学習や交流、体験活動が楽しい」と答えた児童が90%以上			<ul style="list-style-type: none"> 保育園と交流を多くもっていただき感謝している。卒園した子どもたちが成長していると感じる。 地域の方や施設を上手に利用して、子供たちにこの地域を好きになってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで積み重ねてきた交流を継続しながら、工夫改善を進めていく。 計画的に準備し、児童も地域の方もよかったと思える交流内容を検討していく。
3 地域に関する学習や交流、体験活動を計画通り実施した教員が70%以上	2 「地域に関する学習や交流、体験活動が楽しい」と答えた児童が70%以上									
2 地域に関する学習や交流、体験活動を計画通り実施した教員が70%未満	1 「地域に関する学習や交流、体験活動が楽しい」と答えた児童が70%未満									

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。